

**令和7年度  
第2回 愛媛県地域おこし協力隊導入強化勉強会 開催要領**

**1. 目的**

地域おこし協力隊制度の創設から16年が経過し、隊員数及び受入自治体数ともに年々増加しており、総務省では令和8年度までに現役隊員を1万人とする目標を掲げ、より一層、取組みの強化を図ることとしている。

県内においても、人口減少が進み、地域の活力低下が危惧される中、地域力の維持・強化を図る仕組みである地域おこし協力隊制度の活用が進んでいる一方で、昨今の隊員希望ニーズの多様化や地域課題の複雑化等を踏まえ、協力隊希望者と募集・受入自治体とのマッチングの更なる向上に向けては、円滑に隊員を受け入れていく力を県全域として底上げしていくことが重要となってきている。

このため、地域おこし協力隊に関する導入・募集・採用についてのノウハウや事例を学ぶことを通じて、市町職員の制度理解を深めるとともに、その運用力を高める勉強会を開催する。

**2. 主 催**

愛媛県

**3. 運 営**

一般社団法人えひめ暮らしネットワーク（県内地域おこし協力隊経験者団体）

**4. 開催日**

日 時：令和7年6月27日（金）13:30～16:40

場 所：愛媛県農業共済組合（NOSAIえひめ）5階 第1・2会議室

（〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目4-2）

※お車でお越しの際は、近隣有料駐車場をご利用ください

**5. 対象者**

市町地域おこし協力隊関係課職員等

**6. 内 容**

第2回愛媛県地域おこし協力隊導入強化勉強会	
13:00-13:30	<b>開場・受付</b>
13:30-13:40	開会 主催者あいさつ（愛媛県地域政策課） 愛媛県の制度運用状況の概要
13:40-14:10	<b>【講義】要綱改正と留意点について</b> 講師：総務省地域力創造グループ地域自立応援課
14:10-15:00	<b>【講義】地域おこし協力隊制度と行政が担う役割</b> 講師：田口 太郎 氏 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授
15:00-15:10	<b>休憩</b>
15:10-15:40	<b>【事例紹介】運用上の課題整理と取り組み事例</b> 講師：井野 宏俊 氏 八幡浜市政策推進課 係長
15:40-16:30	<b>【意見交換】講義及び事例紹介の内容を踏まえて</b> 進行：千々木 涼子 氏 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク事務局長
16:30-16:40	<b>閉会</b>

## 7. 講師及び進行

【講師】田口 太郎 氏 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

徳島大学大学院 准教授、合同会社暮らしと自治と創造 業務執行社員。1976年神奈川県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修了。小田原市政策総合研究所特定研究員、早稲田大学建築学科助手、新潟工科大学建築学科准教授を経て現職。自らも過疎集落で生活している。地域おこし協力隊制度の施策開始当初より、総務省が主催する協力隊に関連する各種研修の企画に携わりながら、講師としても活動している。

【講師】井野 宏俊 氏 八幡浜市政策推進課 係長

大学卒業後、県外で銀行員として勤務。平成25年、子どもの病気を機に転職を決意。八幡浜市役所入庁。社会福祉課配属。保育所関係業務を担当（2年）。平成27年、財政課配属。交付税、予算、決算等を担当（3年）平成30年、総務課配属。法制執務、議会関係事務、選挙事務等を担当（4年）令和4年、水道課配属。企業会計事務全般担当（2年）。令和6年政策推進課配属。地域おこし協力隊、移住、地域づくり全般、友好都市等を担当（2年目）。

【進行】鍋島 悠弥 氏 総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員

大阪府出身。2012年4月より愛媛県今治市上浦町（大三島）地域おこし協力隊として活動。3年間の任期満了後、上浦町盛集落に定住し、自治組織の役職である盛総代場使丁に就任。総務省が主催する地域おこし協力隊初任者研修／ステップアップ研修に、2015年より現在に至るまでアドバイザーとして継続的に参加。2020年、愛媛県の移住促進及び地域おこし協力隊のサポートを主業務とする一般社団法人えひめ暮らしネットワークの設立に携わり、副代表就任。2022年、総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員就任。2023年、総務省地域力創造アドバイザー及び地域おこし協力隊アドバイザーに就任。

【進行】千々木 涼子 氏 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク事務局長

北海道出身。2017年4月より愛媛県今治市吉海町（大島）地域おこし協力隊として活動。任期中は地域行事や地域活性化事業の支援のほか、マルシェイベントの企画運営などに従事。任期中から兼業でイベント出店などを重ね、任期終了後の2020年4月、活動地域であった吉海町内に本と自家焙煎珈琲の店「こりおり舎」を開店。2022年には簡易宿泊の受け入れも開始し、地域内外の人に開かれた場づくりを行う。また、（一社）えひめ暮らしネットワークの事務局長を務める。